



トランプ関税が与える影響を政府に質す ものづくり産業の立場から石破総理に提言

ご安全に！ 参議院議員の村田きょうこです。郡山りょう参議院議員の誕生おめでとうございます！
さて、8月5日に参議院予算委員会で石破総理へ直接トランプ関税の政府の対応について質問をしました。

トランプ関税をどう対策するのか

質問の動画➡



トランプ関税の影響で、中小・零細企業の皆様からはコストカットや部品の発注数の削減への不安の声を耳にしております。しかし、政府の対応は不透明なままです。産業空洞化を避けるための覚悟が感じられませんでした。

- 自動車部品の中小零細工場の現場では「アメリカで日本の車を増産して部品の発注が減らされる」、「関税を理由に取引先からコストカットを求められる」など不安の声がある。
- この交渉の前から、中小零細企業は省力化・コストカットを十分にやっており、政府も労働者の賃金を上げるために価格転嫁を進めてきた。それなのに、更なる省力化やコストダウンというのは、本当に自動車産業を守ろうとしているとは思えない。
- リスキリングと簡単にいうが、時間がかかる。加えて、対米投資80兆円が合意されたが、これでは日本の産業が空洞化する。
- 政府は、相談窓口を設置したが、平日の電話受付のみ。1か月あたり1カ所平均相談件数は(7月30日時点)約1.2件だけ。窓口の周知が不十分ではないか。
- 政府のサイトにある相互関税の内容は4月時点のまま。トランプ政権の関税政策の要旨も「ページが存在しない」と表示される。政府は国民に説明する責任を果たしているのか。もう「情報把握」する段階ではない。どう対策するかの段階だ。



村田きょうこ
参議院議員



石破茂内閣総理大臣

- コストダウンだけでなく、輸出先を多角化して、もっと市場を世界に広げ、国内でも需要を増やしていく企業へいかに適切な資金的支援をするかが重要。そのために、融資や税制措置の支援、リスキリング(技能の再習得)含め支援を行う。
- 相談件数約5000件の内、約5割が関税措置、約4割が資金繰りの内容。不十分であれば、大幅に改善の要がある。サイトについては、修正した。お詫びする。

最低賃金引上げのための支援を補正予算で組むべき

最低賃金の引き上げに地方の中小・零細企業が対応できるように早急な補正予算編成を石破総理に要望しました。

- 過去最大の最低賃金の引き上げがなされるが、地方の中小零細企業では、トランプ関税の影響で賃上げが難しい。早く補正予算を組むべき。

村田きょうこ
参議院議員

石破茂
内閣総理大臣

- 各党の議論も踏まえ、時期・規模も勘案し、適切に対応する。